

令和7年7月23日

野沢温泉スキー場における灯油流出事故対策について (第2報)

令和7年3月に発生した標記事故につきまして、令和7年6月25日にお知らせした内容から進捗がありましたので下記のとおりお知らせいたします。

1 事故内容

令和7年3月2日、野沢温泉スキー場「やまびこキッチンセアボス」の灯油地下タンクに接続する配管から灯油約6,500～7,000ℓが、スキー場内の地表（積雪下）に流出する事故が発生。

2 これまでの対応

- ・事故直後から灯油が染み込んだ雪や雪解けとともに流れでる灯油を回収するため、吸着剤の散布やプラスチックドラムなどの容器へ回収作業を実施。
- ・雪解け後の4月より、河川（滝ノ沢）に9箇所オイルフェンスを設置し、定期的な水質検査実施。（7月18日現在灯油は検出されていません。）

3 今回の対応進捗状況

- ・国立公園保護規定等に準じ、国・県に対する試掘申請及び承認手続きを経て、試掘作業を実施。

【結果】

試掘は灯油流出が想定される範囲において、油分の検出検査を実施しながら掘削を進め、併せて土壌サンプルを採取し油分の含有量を分析しました。これらの現場状況から流出した範囲と深さを特定、結果として流出地点を先頭とし縦横4m深さ2.4mの範囲外では油分は検出されませんでした。

4 今後の対策方針

今回流出した場所は国立公園内のため、抜土及び客土が禁止されている地域となっています。このため、環境省をはじめとした関係機関と協議し、今回灯油が検出された範囲における土壌の入替等方法について検討を進めています。また、進捗状況について今後も村民の皆様へ随時お知らせしてまいります。

村民の皆様並びに訪れていただいておりますお客様方には、ご迷惑、ご心配をお掛けし重ねてお詫び申し上げます。今後も関係機関とともに流出した灯油の影響調査及び対策について継続して対応を行って参りますので、身近な河川や池等にいつもと違う様子がありましたら、役場民生課、観光産業課又は(株)野沢温泉へ情報提供いただければ幸いです。

村民の皆様には引き続きご理解ご協力いただきますようお願い申し上げます。

株式会社 野沢温泉 TEL 85-3166

役場 民生課 TEL 85-3112

観光産業課 TEL 85-3114